

令和2年度 第1回
学校関係者評価委員会 信頼される鹿商のための委員会

1 日 時

令和2年7月14日（火） 10:00～11:30

2 場 所

管理・教室棟2階 資料室

3 出席者

学校関係者評価委員（6名）

私立大学講師，元幼稚園園長，前町内会長（下宿主），公立中学校長，同窓会副会長，PTA 副会長
校内委員（10名）

校長，教頭2名，事務長，教務主任，生徒指導主任，進路指導主任，保健主任，商業科主任，
教務部副主任（記録係）

4 会 順

(1) 委嘱状交付

(2) 学校長あいさつ

(3) 部活動成果発表

バレーボール部，バドミントン部，ボクシング同好会，地域プロデュース部の順で発表

(4) 学校の概況説明

ア 教務部

イ 生徒指導部

ウ 進路指導部

エ 保健部

オ 商業科

(5) 質疑応答，提言等

5 質疑応答，提言録

- ・ 市バスの路線が民間に移ったことにより，生徒募集に影響するか。
→ 直行バスを検討中だが，実現は厳しい。スクールバスを運行できないか，今後も引き続き検討していく。
- ・ インターンシップは進路実現につながるはず。内容を充実させるためにはどのような取組が考えられるか。
→ 例年どおり実施できるかどうか不透明だが，鹿商で学んでいくこと活かせるインターンシップ先を開拓していく必要がある。
- ・ キャリア・パスポートの積極的な活用とはどのようなことか。
→ 小1～高3年まで記録していくもので，自分の成長過程を把握し，今後の問題解決につなげていく。

- 先輩・後輩の関係を学ぶことから、部活動はキャリア教育につながる。ただ最近、先輩が後輩を指導することが少なくなったと思うがどうか。
 - 上級生が後輩を指導することはある。
- 自転車通学生の挨拶が十分できていないように思う。キャリア教育の観点からも、立ち振る舞いの指導も含め、生徒指導部と連携して取り組んでほしい。
- 部活動成果発表では、ボクシング同好会の発表が印象的だった。入学してきた生徒がどのように成長したか、データで見せることができるとよい。
- 後先を考えずに行動する生徒が多いのではないか。
- 生徒が出身中学校を訪問して、鹿商の魅力を伝える取組ができないか。
- 鹿商も男女共学にしたらという声を聞く。
- この前のような豪雨の場合、鹿商は避難所になることはあるのか。
 - 市から要請があれば、柔道場が避難所になる。
- 神社の脇を通る道路の清掃はしてもらえないか。
 - 検討する。
- SNS の使用が心配である。罪の意識が低い生徒が多いと思う。家庭での指導はもちろんだが学校でも使い方の指導をしてほしい。
 - 指導方法や内容についても、今後工夫をしていく。